



みどりの風

平成30年10月31日発行
校報 第557号
(みどりの風 第100号)
練馬区立関町北小学校

開校60年

校長 大野 泰弘

本校は明日11月1日の開校記念日をもって、開校60年となります。

昭和33年、当時の子どもたちは線路を渡って石神井西小学校に通っていたそうですが、その児童数が増えたため、関町北の地域に石神井西小学校の分校を建設しようということになり、同年10月24日にプレハブコンクリートの校舎が完成し、同年11月1日から石神井西小学校の分校としての教育活動がこの地で始まりました。

そして、翌年の昭和34年4月1日に、石神井西小学校から独立開校し、東京都練馬区立関町北小学校としての教育活動が展開されるようになり、今日に至っています。昨年度までの卒業生は7369名に上り、今でも地元で生活され、後輩の子どもたちの成長を温かく見守ってくださっている方が大勢いらっしゃいます。

石神井西小学校の分校となった、60年前(昭和33年 1958年)の主な出来事を振り返ってみると、

- 1月15日 東京都の学校給食に牛乳が提供される。
- 3月30日 国立競技場が完成する(現在は工事中)。
- 4月5日 読売巨人軍の長嶋茂雄選手(現終身名誉監督)が、デビュー戦で国鉄の金田正一投手から4打席連続三振を喫する(長嶋選手はこの年、本塁打王と打点王の二冠となり、新人王となりました)。
- 11月27日 皇太子明仁親王殿下(現 天皇陛下)と正田美智子様(現 皇后陛下)のご婚約が発表される。
- 12月23日 東京タワーが完成する。

といったニュースが伝えられていたそうです。

これらのニュースからは、時代や社会が大きく変化してきたことが伝わってきますが、それと並行して、関町北小学校も、多くの人々のご尽力によって発展してきたことが分かります。過去の記念誌を紐解いてみると、例えば、

- 昭和38年(1963) 4月 鉄筋コンクリート4階建ての校舎(現在の北校舎)が完成する。
11月 校歌「みどりの風」がつられる。
- 昭和39年(1964) 9月 プールが完成する。
- 昭和43年(1968) 9月 新青梅街道に子どもたちの通学を考慮した歩道橋が設置される。
- 昭和48年(1973) 3月 校旗がつられる。
- 昭和50年(1975) 4月 現在の南校舎が完成する。 9月 関北山ができる。
- 昭和53年(1978) 3月 体育館が完成する。
- 平成 6年(1994) 4月 大王松が「練馬名木百選」に選ばれる。
- 平成15年(2003) 3月 東校舎が完成する。
- 平成16年(2004) 4月 学校安全安心ボランティアの活動開始。 11月 図書ボランティアの活動開始。
- 平成19年(2007) 9月 イングリッシュ・スタッフの活動開始。
- 平成20年(2008) 4月 フラワーサークルの活動開始。

という学校の歩みを再確認できますが、現在の学校がどのように形成されてきたのか、また、この間どれだけの多くの人々の願いがこめられてきたのかを容易に想像することができるでしょう。

そして、このような流れを踏まえて来年度の開校60周年の一年を迎えるわけですが、すでにそのための組織作りは学校内外で進められており、その基本となるコンセプトは校舎改築と連動させて、次の通りとしています(順不同)。

- 母校を「心の故郷」として、学校や地域の歴史及び伝統等をこれからも継承する。
- この地に生まれ育っていること、学校の一員であることに誇りと喜びをもち、多くの人々との絆を深めながら、新たな関町北小学校を創造する。
- 仮設校舎となる来年度は、「過去の伝統・現在の状況・未来への展望」を踏まえた一年とする。
- 校舎全面改築をポジティブに考え、改築期間だからこそできる教育実践を考える。

学校は、地域と共に存在し、充実発展してまいります。引き続き、保護者、地域の皆様の温かいご支援、ご協力をお願い申し上げます。